

2018年2月12日

TIJ-ACPF セミナー開催に対する謝辞

只今ご紹介にあずかりました公益財団法人アジア刑政財団理事の北田と申します。

本日は、TIJ 及びタイ ACPF の共催により「東部経済回廊」をテーマにセミナーを開催していただき、TIJ とタイ ACPF に心より御礼申し上げます。また、本日のセミナーに御出席くださいました数多くの日本企業等の方々に感謝申し上げます。

アジア刑政財団、ACPF、は本日配布いたしました財団パンフレットにありますように、1982年、犯罪なき繁栄をスローガンに、国連犯罪防止刑事司法分野での活動に貢献することを目的に設立された団体です。当初は国連アジア極東犯罪防止研修所（UNAFEI）、これは、犯罪防止刑事司法機関職員向けの国連の地域研修所で、1961年に東京に設置されたものですが、この研修所の研修・調査を支援することを主な活動としておりました。

ところがこの研修所での研修を修了した研修参加者が自国に戻り、研鑽を積み、自分の国にも ACPF と同じような団体を設立したいとして、各国で ACPF 協力団体を設立していくこととなります。タイは1995年11月にタイ ACPF を設立され、現在の理事長は、UNAFEI 同窓生・客員専門家であったキティポン・キタヤラク博士です。私自身、かつては検察官であり、UNAFEI の次長、所長を務めた経験があり、キティポン氏とは長らく懇意にしており、今回このような形で、キティポン氏と会えたことは、誠に感慨深いものがあります。

ACPF の海外協力団体は幾多もありますが、このようなセミナーを開催しているのはタイだけです。しかも、現地の日本企業向けに、日本語の通訳付きとは誠に至れり尽くせりです。遡りますと、2013年10月25日にタイ ACPF の御協力で、「タイにおけるビジネス活動—法制度・運用とその将来の見通し」と題する第1回目のセミナーが開催されました。その後も回を重ね、更に TIJ の協力を得、5回目となりました。しかも、今回は、日本に本部を置く ACPF から20名近い役員、会員が自費で参加してくださいました。

タイ ACPF の継続的な取り組みの熱意が、今回、こうして数多くの役員・会員を日本から呼び寄せることにもつながったと思う次第です。

今回は、キティポン氏の歓迎あいさつに続き、ウジット・ウジトラア法務大臣

の開会あいさつを賜り、感激いたしました。また、パネルディスカッションで御発表いただきましたワチャロン氏、重松氏、柿塚氏、そしてモデレーターのカンタートン氏には、タイ東部経済回廊の今後の在り方を考え、日本企業がどのように向き合えばよいのかについて、掘りの深い、また具体的な提案に満ちたのではないかと考えております。

最後になりますが、今日、2月12日は、当財団の生みの親ともいえる敷田稔前理事長、元アジ研所長、元国連犯罪防止刑事司法部長の誕生日に当たります。なにか不思議な縁を感じもします。敷田前理事長は、昨年85歳で逝去されましたが、それまでキティポン氏とも懇意にされ、タイACPFの活躍と役割に大きな期待を寄せておりました。今後のタイACPF及びTIJの御発展を、アジア刑政財団本部を代表して、祈念し、謝辞とさせていただきます。

公益財団法人アジア刑政財団
理事 北田 幹直